



議会だより

北栄

北栄町議会
36
平成27年5月



「コナン君はどこだ」

由良こども園 かぜ組 ほし組

予算80億を突破

P.2

注目事業はこれだ!

P.4

町政 ここを問う

P.9

アポなし インタビュー

P.24



北栄町議会

検索



<http://www.e-hokuei.net>

平成27年度 一般会計

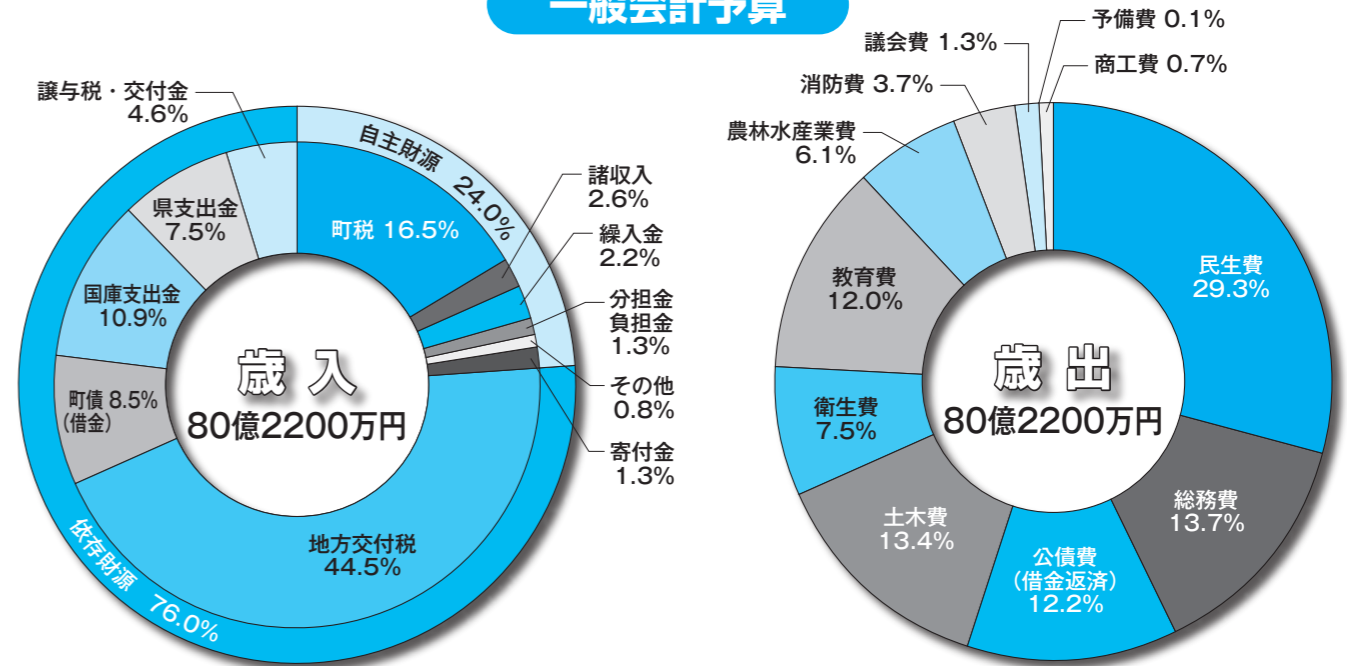
予算

80億円を突破

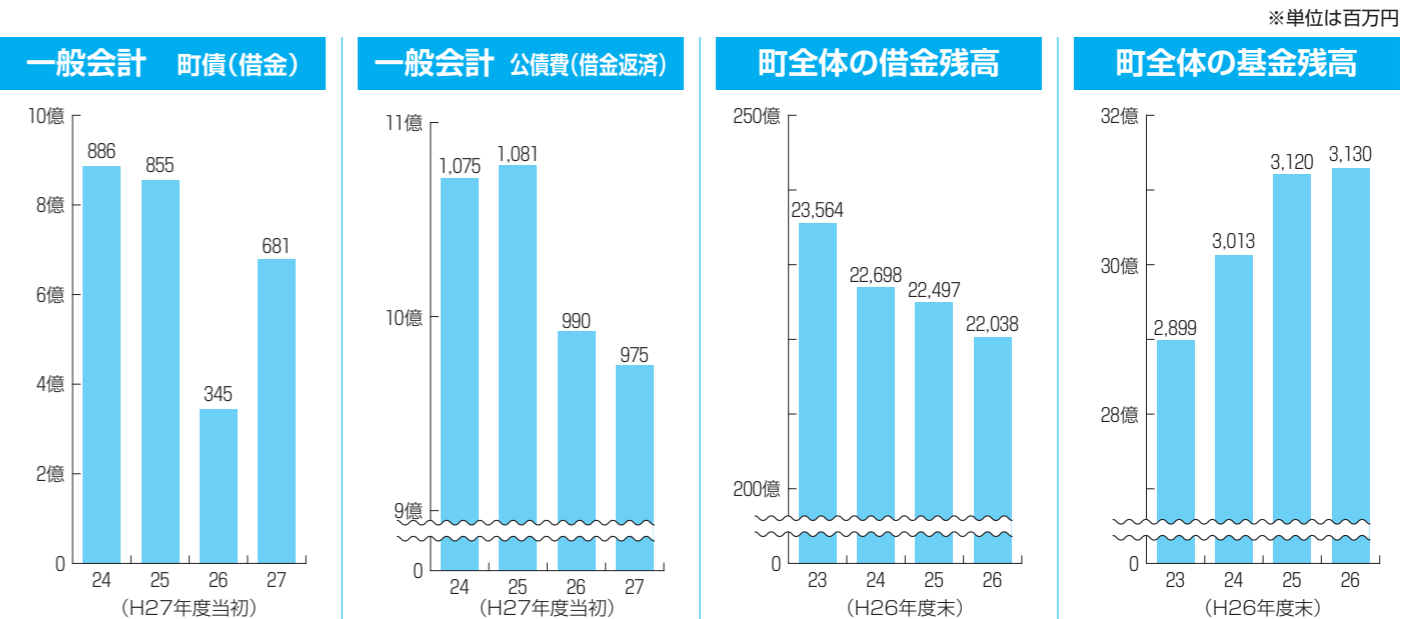
3月9日から20日まで、3月定例議会が開かれました。平成27年度予算12件や条例20件、補正予算8件、議会発議案件3件、その他6件の合計49議案と5件の請願・陳情審査が行われました。その結果49議案は、すべて原案どおり可決されました。

一般会計予算は、大型事業や町制合併10周年記念事業を盛り込んだため、前年度比11.3%増の80億2200万円の積極型予算となりました。

一般会計予算



歳入では、町の借金である町債が、大型事業に伴い前年度比97.1%増の6億8160万円と大幅アップ、次いで国庫支出金が前年度比25.3%増の8億7735万円などです。歳出では、過去の町債の償還に充てられる公債費が、前年度比△1.6%、△1561万円と、借金返済が順調にすすめられています。



予算案に賛否あり

〔反対討論〕

長谷川昭二
関連事業も含め合併記念事業に総額1400万円もの予算が組まれていること、不必要な大型公共事業の推進である山陰縦貫・超高速鉄道整備推進負担金などの予算計上があること、保育士の臨時職員雇用の常態化、調理従事者を低い雇用待遇に追いやっている学校給食調理部門の民営化などにより反対する。

〔賛成討論〕

津川俊仁
生活困窮者自立支援法施行に伴う関連予算が組み込まれ、その対策に福祉事務所を中心に真摯に取り組む姿勢は評価できる。また、庁舎内のエレベーター設置費用や老朽化が進んだ由良宿団地建替設計費用も計上されている。

浜本武代
北栄町まちづくりビジョンに沿った予算が組まれている。また、合併10周年の年に記念式典や町民に喜んでもらうためのすいか・ながいも健康マラソン、砂丘まつり、美術展などに新規事業を加えた予算になっている。

斉尾智弘
教育費の前年比3億4300万円増は評価できる。本予算は未来の子どもに残すべき大切なもの(産業・教育・環境・福祉・子育て・文化)に積極的に取り組む予算となっている。



〔反対議員〕

長谷川
〔賛成議員〕
浜本・田中・池田・山下
前田・森本・宮本・町田
斉尾・阪本・油本・飯田
津川

質疑あれこれ

問 津川 俊仁

歳入で、ふるさと納税が1億円と見込んであるが、その根拠と対策は。

答 手嶋総務課長

商品を増やしたり、年間を通して商品の提供、グレードの高い商品の提供などを考えている。

問 飯田 正征

合併10周年事業としていろいろ予算化してあるが、本当に必要な事業か。

答 手嶋総務課長

内外の人に、一つの節目として、北栄町をアピールしたい。

問 長谷川昭二

合併10周年事業で、町民に対して何か記念になるものを配布する考えは。

答 谷口政策企画課長

式典参加者には、町勢要覧などの配布を考えているが、全戸配布は考えていない。

問 津川 俊仁

大栄庁舎のエレベーター設置までのスケジュールは。10月の合併記念式典に間に合わせては。

答 手嶋総務課長

4月に設計に入り、式典までの完成を目標に進めていく。

問 宮本 幸美

北条砂丘農業活性化支援費にある、情報発信事業は何か。

答 手嶋産業振興課長

インターネットの「ぐるなび」に登録する。自治体が「ぐるなび」に加入するのは日本ではじめてのこと。最小の費用で最大の効果をあげたい。



ふるさと納税のお礼の品 (人気のねばりっこ)

注目事業はこれだ

平成27年度一般会計予算に組み込まれた事業を取り上げました。



大栄体育館の大規模改修 1億5100万円

避難所にもなっているため、建物の耐震改修やバリアフリー化等



公共施設に太陽光発電 3100万円

大栄健康増進センターに、約30kWの太陽光発電設備を設置。売電収入の一部は、太陽光発電システムが設置できない自治会に対し交付



町営住宅の建替設計 7800万円

由良宿団地建替えのため基本設計・第1期実施設計
【概要】3階建て 3棟全60戸、駐車場、駐輪場、物置、ごみ置場、集会所を併設



農業機械導入等支援 1260万円

長芋掘取機・らっきょう植付機等



大栄中学校プールを改築 1億7300万円

昭和40年設置で老朽化した50mプールを25mに改築。今シーズン終了後に着工



大栄庁舎にエレベーター 2800万円

出納室付近に設置



合併10周年記念 1100万円

記念式典のほか、町勢要覧の作成やプロジェクションマッピング、北栄文化回廊等実施

賛否あり

平成27年度特別会計予算

- ① 国民健康保険
- ② 介護保険
- ③ 後期高齢者医療
- ④ 下水道
- ⑤ 農業集落排水
- ⑥ 合併処理浄化槽

反対討論 長谷川 昭一

- ① 被保険者の負担能力を超えた保険料であり、さらに負担軽減を図る必要がある。
- ② 保険料据え置きと多段階化は進んだが、被保険者の負担を軽減する施策が不十分。
- ③ 高齢者を差別し、際限のない負担増をおしつけるこの医療制度の廃止を求める。
- ④ 合併後、二度にわたる値上げがされ、県内でも重いものになっている。
- ⑤ ④と同じ
- ⑥ ④と同じ

反対議員

長谷川

賛成議員

浜本・田中・池田
山下・前田・森本
宮本・町田・斉尾
阪本・油本・飯田
津川



その他の平成27年度特別会計5議案は全会一致で可決されました。

平成26年度補正予算	▶一般会計補正予算（第9号）	（事業確定等▲1億913万円）	全会一致
	▶国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	（医療費拠出金▲2384万円）	全会一致
	▶介護保険特別会計補正予算（第3号）	（基金積立増・予備費減）	全会一致
	▶下水道特別会計補正予算（第6号）	（工事請負費▲635万円）	全会一致
	▶風力発電特別会計補正予算（第3号）	（修繕費等964万円）	全会一致
	▶米財産区特別会計補正予算（第1号）	（基金積立17万円）	全会一致
	▶大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第3号）	（繰出金減等）	全会一致
その他	▶後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	（給付金▲635万円）	全会一致
	▶第6期北栄町介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定		全会一致
	▶倉吉市との間における定住自立圏形成協定の変更	（協定項目追加）	全会一致
	▶財産の無償譲渡	（北条文化会館を大野自治会へ）	全会一致
	▶損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定	（電気機器故障）	全会一致
	▶子ども・子育て支援事業計画の策定		全会一致
	▶損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定	（スクールバス対物事故）	全会一致

発委第1号 北栄町議会委員会条例の一部改正 全会一致

★「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」と併せ、地方自治法第121条が改正されたことから、北栄町議会委員会条例第19条を改正するもの。

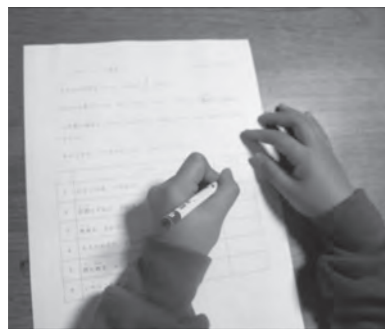
発委第2号 北栄町議会基本条例の一部改正 全会一致

★第6期北栄町介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定並びに子ども・子育て支援事業計画の策定に伴い、名称を変更するもの。

発委第3号 「治安維持法犠牲者国家賠償法」(仮称)の制定を求める意見書の提出 全会一致

★「治安維持法犠牲者国家賠償法」(仮称)の制定を国に要望するもの。

質疑あれこれ



いじめ問題アンケート

答 手嶋総務課長
いじめ防止対策推進法の30条第3項に議会への報告義務が載っている。法律に基づき進めていく。

問 田中 精一
いじめ問題調査委員会等設置条例だが、法律では、検証委員会が動く、議会に報告することになっている。条例に、議会に報告する条文があってもよいのではないか。

条例等

3月 定例議会 議案審議結果

平成27年度当初予算	▶一般会計	(80億2200万円)	賛成13：反対1
	▶国民健康保険特別会計	(21億3012万円)	賛成13：反対1
	▶介護保険特別会計	(16億179万円)	賛成13：反対1
	▶住宅新築資金等貸付特別会計	(717万円)	全会一致
	▶下水道特別会計	(12億6133万円)	賛成13：反対1
	▶農業集落排水特別会計	(1743万円)	賛成13：反対1
	▶風力発電特別会計	(5億3066万円)	全会一致
	▶米財産区特別会計	(56万円)	全会一致
	▶合併処理浄化槽特別会計	(635万円)	賛成13：反対1
	▶大栄歴史文化学習館特別会計	(5299万円)	全会一致
	▶後期高齢者医療特別会計	(1億5028万円)	賛成13：反対1
	▶水道会計	(4億5579万円)	全会一致
条例	▶附属機関条例の制定		全会一致
	▶いじめ問題調査委員会等設置条例		全会一致
	▶地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る人員等に関する基準を定める条例		全会一致
	▶指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例		全会一致
	▶鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例		全会一致
	▶おためし住宅の設置及び管理に関する条例		全会一致
	▶特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正		全会一致
	▶地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例		全会一致
	▶光ファイバーネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部改正		全会一致
	▶防災行政無線連絡施設の設置及び管理に関する条例の一部改正		全会一致
	▶行政手続条例の一部を改正する条例		全会一致
	▶特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部改正		全会一致
	▶職員の給与に関する条例の一部改正		全会一致
	▶税条例の一部改正	(地方税法改正によるもの)	全会一致
	▶認定こども園設置条例の一部改正		全会一致
▶児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正		全会一致	
▶隣保館の設置及び管理に関する条例の一部改正		全会一致	
▶介護予防事業・介護保険地域支援事業手数料の徴収に関する条例の一部改正		全会一致	
▶介護保険条例の一部改正		全会一致	
▶健康福祉センター等の設置及び管理に関する条例等の一部改正		全会一致	

町政 ここを問う

質問席

3月定例議会では12人の議員が
27問の一般質問を行いました。

質問分野	質問事項	質問者	ページ
地方創生	地方創生の取り組み	飯田 正征	10
	地方創生戦略の推進	斉尾 智弘	10
	地方創生と運転免許試験場跡地の有効利用	山下 昭夫	11
	地方創生（まち、ひと、しごと）事業の取り組みと町長の政治姿勢	阪本 和俊	11
空き家対策	空家対策特別措置法の運用	飯田 正征	12
	空き家対策	長谷川昭二	12
政治・政策	町長の政治姿勢	池田 捷昭	13
	税金等の値上げの可否	池田 捷昭	13
	平成の大合併から10年、北栄町の財務体質と行財政改革	山下 昭夫	14
福祉	高すぎる国保税の引き下げ	長谷川昭二	14
	高齢者の福祉施策	町田 貴子	15
	生活困窮者自立支援法	津川 俊仁	15
	第6期北栄町介護保険事業計画・高齢者福祉計画(素案)	浜本 武代	16
農業・産業	認知症対策と地球温暖化対策にこだわる町長の政治姿勢	阪本 和俊	16
	米価格下落による農家の支援	飯田 正征	17
	農地に設置されたソーラーパネル	津川 俊仁	17
	ジビエ振興と狩猟免許	斉尾 智弘	18
庁舎統合・移住	観光産業の活性化	油本 朋也	18
	庁舎統合	池田 捷昭	19
教育・監査	移住者のアフターケアを	森本真理子	19
	鳥取中央育英高等学校との「地域探究の時間」推進	町田 貴子	20
生活・環境	監査指摘	阪本 和俊	20
	生活道路の管理	田中 精一	21
	河川・水路の管理	田中 精一	21
	由良宿団地の建て替え問題と町営住宅問題	津川 俊仁	22
	動物愛護	斉尾 智弘	22
	コナン通りの両側をきれいに	浜本 武代	23

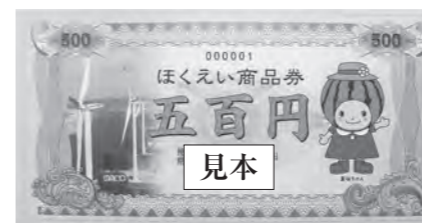
請願・陳情審査結果

請願・陳情件名	請願・陳情者名	採決	委員会の意見（主旨）
「治安維持法犠牲者国家賠償法」の制定を求める意見書提出の請願	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 鳥取県本部 会長 保田 睦美	採 択 全会一致	この法の犠牲となった方へ、謝罪と賠償を行うことは当然である。 →政府・国会に意見書を提出
年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県本部中部支部長 平井 隆	不採択 賛成6：反対7	財源の確保がない。年金を支える現役世代の負担が重くなる。
中学校で使用する歴史・公民教科書の採択基準に関する陳情	教育を考える鳥取県民の会 会長 河合 鎮徳	不採択 賛成1：反対12	現行の教科書採択基準で、問題はないと考えている。
教科書採択改善のために、総合教育会議（設置）の準備に関する陳情	教育を考える鳥取県民の会 会長 河合 鎮徳	不採択 全会一致	総合教育会議が設置され、教科書採択についても十分な協議がおこなわれるため。
地方自治法第124条以下及び国会法第79条以下並びに請願法について、日本国憲法第16条の請願権規定の趣旨に合致する形での改正を求める意見書の提出を求める陳情	足羽 佑太	不採択 賛成1：反対13	北栄町議会では「陳情」についても、「請願」と同じように処理しており、他議会についてはそれぞれで判断すべきである。

1月と2月に臨時議会を開催

1月14日	一般会計補正予算（第7号） (光ケーブル線支障移転等120万円)	全会一致
2月13日	一般会計補正予算（第8号） (生活支援事業・地方創生先行事業等1億4990万円)	全会一致
	下水道特別会計補正予算（第5号） (マンホールポンプ更新302万円)	全会一致
	大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第2号） (青山剛昌ふるさと館のチラシやホームページの多言語対応費用140万円)	全会一致

質疑あれこれ



プレミアム商品券

問 津川 俊仁
総額1億2千万円もの商品券の発行を、町の活性化につなげるために、町民への周知や使えるところを増やすなどの努力を望む。

答 手嶋産業振興課長
販売前から、町内への周知を行ったり、使えるところやサービスを増やしていくように、商工会と協議をしている。

一般会計補正予算
(第8号)



飯田 正征



町政(こ)を問う

地方創生の取り組み

町の総合戦略は

町長 多種多様な意見を参考に

飯田

国・県の総合戦略

を勘案して市町村ごとに総合戦略を立てることを規定しているが、本町の戦略は、課長以上で協議し、策定委員会にて検討を行うため、町内外からアイデアを募集しているが、応募はあったか。町民、町職員など多くの人が関わるプロジェクトワーキングチーム等を立ち上げ、具体策の提言を総合戦略に活かしては。

町長

戦略は農業、観光、環境、雇用、子育て、移住定住などを柱にする。

寄せられた意見は4件。まだ募集中である。プロジェクトチームは昨年から若い職員でやっている。今後は庁舎内外の人による「まち・ひと・しごとの創生座談会」を設け、多種多様な意見を聞き町づくりに関する参考にし、できることから取り組んでいきたい。

地方創生戦略

カギは戦略の推進

町長 推進会議を設置

斉尾

地方創生推進の力

ギとなる5点について伺う。
① 戦略を立てるための人材の確保
② 周辺市町との連携
③ 地方移住の推進
④ 地場産業の競争力強化や企業誘致への取り組み
⑤ 結婚支援

町長

①「地方創生推進会議」を設置した。メンバーは住民をはじめ産・官・学・金・労・言などで、委員長は鳥取中央育英高校の校長にお願いしている。

② 市町村の独自性が競われるが、広域連携が必要となるものは、十分に調整しながら反映したい。
③ 余り十分とは言えない。「移住奨励金」「移住者家賃補助金」さらに空き家の活用と併せて推進したい。
④ 産業振興奨励条例において支援している。さらに国・県、中部産業支援センターなども連携している。
⑤ 婚活事業を本年も実施し、広域連携も効果的だと考えている。



斉尾 智弘



移住・定住PRパンフレット

免許場跡地の用途は

町長 コナンの第2拠点へ



山下 昭夫

山下

地方創生が動き出し、活性化に向けた計画づくりを国は自治体に求めている。

このような状況の中で「議会出席座談会」で用途をはっきりしてほしいという意見があった。町長の考えは。



出合いの広場に新設された東屋

町長

県から返還された際、一部観光客のための駐車場として活用されてきた。現在はコナンの第2の拠点とし、トイレやコナンの石盤、モニタメントの設置や商工会が集合店舗を設置などコナン通りと一体となった取り組みを計画し推進してきた。今後も地元町づくりの会、商工会等連携し、誘致に向けた積極的な取り組みを進めていきたい。

地方創生と農業

農業振興への姿勢

町長 農業振興基本計画が最上位

阪本

過去の農業振興事業

業に対する検証が必要。「誰のためか」「何のためか」行政は結果にも責任を持つ覚悟をすべき。「みんなで作らいや」は結果として事業者だけに負担がかかってきた。執行権を持つ町長の基本計画に対する姿勢が見えてこない。

町長

農業基本計画こそが農業関係計画の中で最上位である。国も地方創生の成長戦略に農業を位置付けている。耕作放棄地の拡大を背景とする農業農村の衰退が顕著となっている。農業、農村の活性化こそが重要課題である。

る。基本目標である「元気な町づくり」の実現に向け、農政を進めていく。農業振興に対する政治姿勢は「将来にわたり夢と希望が持てる農業のまち北栄町」を目指し、本町農業を次の世代へ引き継いでいく。



阪本 和俊



らっきょう畑

諮問機関

委員は外部登用

町長 すでに各分野から選任



池田 捷昭

池田 町が発展するには、トップリーダーが目、目標を明確にし、人材が噛み合ったうえで、諮問機関が形式的でなく修正するぐらいの、外部目線からの人材登用の考えはないか。



町長 諮問機関に、現在、自治基本条例、行政改革審議会、地方創生推進会議などを設けている。各分野から見識ある方々を選任するなど、いろいろな角度からご意見をいただき十分役割を全うしていただいていると認識している。

特別措置法の運用

現状と今後の取り組み

町長 国のガイドラインを参考



飯田 正征

飯田 北栄町空き家等に関する条例により既に手続きが進められているが、現在の推進状況と、空き家を固定資産税軽減対象から外す、新しい特別措置法の取り組み、認定方法は。



空家情報バンクに登録して有効活用を

町長 条例に基づき現在まで指導27件、勧告4件行い、ある程度効果が出ていると思う。「特定空家等」の認定は5月26日に示される国からのガイドラインを参考に審議会で助言をもらい、危険度ランクを調べ行政処分の基準を明確にしたい。今後モ庁内各課で組織する「空き家対策会議」で老朽危険空家等の除去を進める検討をしたい。

町政ここを問う

特別措置法

撤去費用の支援

町長 県と一部を補助



長谷川 昭二

長谷川 「空家等対策の推進に関する特別措置法」が成立し、固定資産税の特例減免はなくなる。一方、市町村に対して、空き家対策の適切な措置を講じることを定めている。本町の空き家対策条例の施行後の成果と見直し等の対応はどうなっているのか。また、経済的に撤去

費用を出すことが困難な所有者への支援が必要ではないか。

町長 平成26年9月24日付けで緊急性を要する空き家4件について指導を行った。10月1日には弁護士、不動産鑑定士など6名で構成する「空き家対策審議会」を開催。平成27年2月16日付で新たに指導27件と前年9月に指導

行った4件について勧告を行った。指導を行った中からは前向きな回答もいただいている。見直しについては考えていないが、国のガイドラインが示されることになっているので必要であればその時に見直しを行ってきたい。支援については、県と一緒に一部を補助している。



住民負担

安易な値上げでは

町長 徹底した行革

池田 全事業を見直して徹底した行革をすることあるが、財源不足の時は町民に負担を求めるとは余りに安易と言わざるをえない。まず行革を何のためにするのか、説明責任が果たせない。リーダーシップによる効果予測から始まり、総額減額予測がなくてはならないと考える。

町長 まずは、徹底した行革を推進し、町民に負担を強いるかどうかを判断するのは、その後であり、この姿勢は変えていない。町民みんなの生活を無視し、無責任に負担を押し付けることではない。全事業をゼロベースから見直し、役割を終えた事業、民間にできる事業など簡素でスリムな行政を作り上げ、そのうえで、なお財源が不足する場合は検討が必要である。



町政ここを問う

高齢者福祉施策

支援のネットワークづくり

町長 近隣市町等と協力



町田 貴子

町田

在宅介護
地域支援

事業で介護関係者連携体制を平成30年までに整備するところがあるが、現在年一回の地域ネットワーク会議では間に合わない。認知症、高齢者虐待の早期発見は支援のネットワーク作りが必要で、地域包括支援センターと社協が連携し、早急に取り組むこと。



町長

地域ネット
ワーク会議

の開催により、医療・介護関係者の連携が図られつつある。病院と介護関係者との連携システムを本町で構築することは困難。「在宅医療・介護連携支援センター」の設置運営を含めて中部医師会や近隣市町と協力して実施する。地域住民、福祉関係団体、医療等との連携で、高齢者の尊厳を守っていく。

行財政改革

財政状況を考えているか

町長 行革プランを検証



山下 昭夫

山下

合併から
10年、合

併自治体には合併特例債が活用できた。これから段階的に交付税が減額されるが、町財政は厳しく、行財政改革が進んでいない。町の財政状況を考えているのか疑問である。



町長

取り組みの
成果として

一般会計地方債残高はピーク時より15億円減少している。財政調整基金も合併時と比較して5億3千万増加している。実質交債費比率も最も悪化した年度より6ポイント改善し、一定の成果を上げている。今後、全事業棚卸の取り組みの中で、引き続き行政改革プランの検証を進める。

町政ここを問う

町政ここを問う

国保税

国財源で引き下げ

町長 繰入の解消に充てる

長谷川

国からの
市町村国

保への財政支援である「保険者支援金」都道府県調整交付金を背景に、国民健康保険税の引き下げをする自治体がいま相次いでいる。この財源は、一般会計からの繰入額を削減するのではなく、高すぎる国保税を引き下げるべき。また、国保

の財政運営主体の県一本化は、国保税のさらなる値上げにつながる。

町長

一般会計からの赤字補てん繰入が恒常化している運営状況なので、保険税引き下げに充てるのではなく、繰入の解消に充

てるべきだと考えている。国保の財政運営主体の県一本化は、制度自体がまだ具体的に示されていない。今後は国の動向を踏まえながら県と協議を重ねていく必要がある。また町民のご意見を聞くことや情報提供をしていく。



長谷川 昭二



特定検診の様子

生活困窮者自立支援法

困っている人の把握は

町長 関係機関と連携

委員長 福祉課につなげる

津川

4月から
生活困窮

者自立支援法が施行される。困っている人の把握をどのように行うのか。相談者が相談しやすい窓口をどのように創るのか。

町長

困っている
人の把握

は、中国電力、民生児童委員やハローワーク、さらに町社会福祉協議会との連携体制をとり、定期的に情報交換を図る場を設ける。あらゆる場面で広報活動を実施し、相談者が相談しやすい窓口になるようつなげる。

教育委員長

「北栄人権文化センター」の利用者からある相談については生活困窮などに起因するものは福祉課につなげていく。



津川 俊仁



米価下落

対応と支援

町長 支援を検討



飯田 正征

飯田

米価の下落は、農家にとって大打撃である。

生産者の作付け意欲が低下し、耕作放棄地が増えることを危惧する。トラクター、田植え機等の農機は高価なわりに年に数回しか使用しないものもある。

農機類を町が保有しリースすることや、水稻種子の購入費の支援を考えては。

町保有のトラクターは、申込みが一期に殺到し使い勝手が悪い。



町長

米価下落に加え平成30年度産米から経営所得交付金が廃止されるため、特に大規模農家などは資金繰りや経営計画に苦慮されるだろう。品種転換、法人化、販売方法の吟味など水田経営を根本から考える必要がある。

町のトラクターは現在2台あるが、使用時期が重なるためさらに必要と考える。

水稻種子購入費の支援は検討したい。

第6期計画

地域・住民主体とは

町長 地域の支える力と一緒に



浜本 武代

浜本

地域包括支援センター

ターを中心に、高齢者が地域で自立でき、また、認知症サポーター養成、介護予防事業が実施され成果も上がっている。今後3カ年の第6期計画には、単身高齢者が増加する中で、地域からの孤立をなくしていくために、地域・住民主体で進める取り組みとは。

町長

高齢化のピークとなる平成37年度に向け、高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられるよう、医療と介護の連携をしていく。認知症対策、生活支援サービスと取り組みを町が中心となっていく。地域の自主的・主体的な支える力で一緒にやっていくことが重要である。



町政ここを問う

農地に太陽光発電 農業振興との整合性は

町長 調和のとれた姿が望ましい 農委長 同意書を条件に

津川

最近農地のソーラーシステムによる発電施設が設置されたが、農業振興との整合性は。

農地への太陽光発電の設置は、農地の転用許可が必要だが、許可された際、隣地や周辺農家との問題はなかったのか。今後、同様案件の対応について、農業委員会会長に伺う。

町長

太陽光発電を設置する事業者や農地を提供する地権者は、周辺農地への影響を十分に配慮してほしい。営農を継続しながら上部空間に太陽光発電をする場合、耕作を目的とする農地としての利用を前提としているので、特段問題は無いと理解している。

同様の案件についてはケースバイケースなので、まずは農業委員会に



営農型太陽光発電 (芝・常用キリンソウ)

農業委員会長

周辺農家と設置者の間で行き違いや制度の理解の点で摩擦があったように、今後は、説明会を開催したり、周辺土地所有者からの同意書添付を条件としたい。

認知症

予備軍対策が急務

町長 予防事業で効果

阪本

認知症患者対策は適切であり、今後は予備軍対策が急務。自治会太陽光の取り組みは説明不足、負の遺産になる。

町長

認知症患者数の把握は困難であるが、目安として1年間の介護保険認定申請者は横ばいとなっていることから予防事業の効果が見えてくる。月4回実施の予防教室を今後増やして行きたい。太陽光発電設置事業は地球環境保全意識の高揚を図り、独自財源を長期間にわたって確保することにより、地域の活性化を図ることを目的に進めていく。



阪本 和俊



こけないからだ体操

町政ここを問う

庁舎統合

町民の合意形成は

町長 丁寧に説明



池田 捷昭

池田

旧北条町の議会議決を、深く理解していると言いつつ旧町民議会を欺いた。政治家なら姑息な手段を取らずに、堂々と庁舎統合を選挙公約に掲げ、選挙戦に臨むべき。まだまだ融和は図られていない。何人が賛成を示せば、町民の合意形成をどのように図るのか。

町長

庁舎統合をする意味、北条地域の振興を図る取



り組みを、町民のみならず丁寧に説明させていた。ただし、十分に意見をお伺いしたうえで、合意形成を図っていく。

ひとつの町に庁舎はひとつ、これが本来の姿であり、合併して10年が経過しようとする今、本来の町の姿に戻していく時期が来ているのではないかと考えている。

統合後、北条地域まわりの振興のため、充実させた公民館機能と、総合窓口を併せもつ北条支所を健康福祉センターで実施していく考えである。

ジビエ振興と狩猟免許

本町の取り組みは

町長 支援を行っていく



斉尾 智弘

斉尾

ジビエとはシカ、イノシシなど野生鳥獣またはその肉のこと。近年食肉として活用する動きが広がっている。本町にはジビエ料理を食する店はない。地方創生を念頭において本町での取り組みは。また、狩猟免許は鳥獣による被害から農作物を守るために農家の人々が取得して来ていた。ところが近年高

町長

北栄町はプロジェクトの連携市町の1つとして生け捕り捕獲の推進や周知体制構築、販路拡大等の相談支援を行っている。狩猟免許については新規免許取得者補助金や射撃練習奨励金の支援を行っていく。

齢化が進み、人数も減ってきていると伺っている。狩猟免許取得に対する支援が必要と考えるが。



町内のイノシシ飼育場

町政のことを問う

観光産業の活性化

もっと積極的に

町長 周辺自治体と連携

油本

町は観光客の誘致方法を今までの方針に加え、旅行会社の意見を聞き積極的な送客を促すよう工夫することが重要では。年々増加する訪日外国人観光客への、町の対応策は。

町内には団体客の受け入れ可能な食事場所や、土産物店・宿泊施設はない。誘客は町単

町長

旅行会社がらの送客は独ではなく県中部が連携し、特色を生かしながら行った方がよいのでは。

現在JR西日本との独占契約のため、著作権管理上コナンを活用した旅行商品は残念ながら難しい。ふるさと館は既に外国人向けに消費税免税制度を開始。観光案内所や道



油本 朋也



コナン駅の快速増便によるセレモニー

移住者のアフターケア どのような対策を

町長 できる限りの支援を

森本

妻波自治会に昨年10月から、地域おこし協力隊として2名が着任されている。今後とも隊員を増やす考えだと思いつつ、定住に向けてどのような対策をとるのか。

町長

隊員も着任して5か月であり、手探りで活動している状況である。引き続き相談に応じながら定住にむけ、できる限りの支援をしていきたい。移住者支援だけでなく、空き家情報バンク登録物件の所有者に購入又は賃貸に対して5万円

の奨励金を交付する。その他、空き家改修費用補助額の上限を100万円に増額する。「妻波おためし住宅」は4月下旬オープン予定。北栄町の日常を実際に暮らしてみたいという魅力発信していきたい。



森本 真理子



妻波おためし住宅

町政のことを問う

生活道路の維持管理

町道に認定は

町長 基準に合えば



町長 田中 精一

田中

①生活道路の生コン舗装などの維持管理は、自治会等にとって負担が大きく困難だ。単町補助制度を拡充する考えはないか。

②土地所有者が誰でも「公衆用道路」で、その道路の用地区分が「公衆用道路」で、なおかつ町道基準に合致していれば町道と認定し、町で維持管理すべきでないか。

③JR由良駅前の旧ガソリンスタンドのコンクリート塀が影響し、



未舗装の生活道路

町長

①生活に密着した私道の改修等に、町道並みの単町補助制度の適用拡大を検討したい。

②基準に合致していれば、認定可能である。

③昨年も県土整備局に、当該地の歩道拡幅要望をしたが、土地の権利関係が複雑で実現できていない。再度、要望したい。

①生活に密着した私道の改修等に、町道並みの単町補助制度の適用拡大を検討したい。

地域探究の時間

育英高とのかかわり

町長 人づくりに期待

教委長 ともに推進



町長 町田 貴子

町田

鳥取中央育英高校と北栄町は「地域探究の時間」推進協約を調印後、お茶会、高校生議会などを実施した。高校再編が議論されている中、郡で唯一の高校を存続するため、地域の魅力や課題を分析し、地域発展のための対策を研究するこの取り組みにどう関わるのか。

町長

地域に根差した高校として、地域に貢献できる人材育成を目指している。また高校再編に対して学校や同窓会は危機感を持っており、特徴を生かした学校づくりのため、北栄町の魅力や課題を分析し、地域発展のため



高校生議会

教育委員長

「向ヶ丘レインボーラン」に大栄小・大栄中・鳥取中央育英高校が連携して取り組んでいる。その上で、北栄町の歴史・文化・地域を探究し、高校生の視点、感性で魅力の掘り起し、課題の整理をする。

そして、将来展望に立った提案を通し、今後この町に貢献する人材の育成に取り組むもので、ともに推進していく。

競争原理に疑問

監査指摘

代監 5者指名、4者辞退
町長 一層気をつけていく

阪本

入札の目的である競争原理がはたらいっていないのではないか。

代表監査委員

ある業務において5者を指名した入札前に4者が辞退。その結果1者となり入札を中止し、その



代表監査委員 阪本 和俊

者と随意契約した。別年度は同一の業務を契約するに当たり、同様の契約がなされた。この様なことで公正公平な事務が執行されているのか疑問であると、意見を付けて報告したものを。

町長

今後、誤解が起きることがないように見積・発注の業務を進め、また監査においてわかりやすい資料の作成と説明をおこなうよう、一層気をつけていく。



報告書を提出する監査委員

河川・水路の維持管理

バイパス水路で浸水対策

町長 優先順位で

田中

①自治会として、実施している由良川護岸の草刈・清掃作業に関し、管理主体である県への支援要請や要望は、すべて町を窓口として申し入れして欲しい。

②清掃作業で発生した汚泥の最終処分地は、今後とも町で責任をもって確保されたい。

③由良駅南排水路は屈曲し流れにくい。バイパス水路を2〜3本新設し、直接、雨水排水を前川に流し込む「浸水防止対策」を実施されたい。

町長

①現在も町が窓口となり県土整備局へ要望をしているが、今後とも町が窓口となり関係住民・自治会と連携のうえ、要望等をしていきたい。

②今後汚泥最終処分地は、町が責任を持って確保する。

③現在、まず町道大栄小中学校線に前川へ直接接続する排水路新設の検討を行っている。その他の排水路も、優先順位を付けて改修するよう考えている。



排水路が直接前川に接続していない

町政ここを問う

町政ここを問う

コナン通り

歩きたくなる通りに

町長 大切な観光地の一部



浜本 武代

浜本

コナン通りの両側の耕作放棄地の一部をきれいな花で整備し、お客様を気持ちよく迎えたい。早急に地権者の方の協力とボランティアの方々の力で花を植えきれいなコナン通りが急がれる。



町長

コナン通りは、観光客にはメインロードで観光地の一部である。耕作放棄地の雑草繁茂は、北栄町のイメージダウンとなる。農地所有者が管理困難と認められる場合は、景観に配慮した取り組みを検討する。

由良宿団地

設計計画、建設手順は

町長 鉄筋コンクリート3階建、全60戸



津川 俊仁

津川

いよいよ27年度、由良宿団地の設計が始まり、由良宿団地の建て替えが進もうとしている。その設計計画と、用途廃止となる住宅の居住者の対応は、どこまで進んでいるのか。



由良宿団地

町長

鉄筋コンクリート3階建てで、全60戸、駐車場、駐輪場、物置、ごみ置き場、集会所を予定している。平成28年度に第1期工事として町営プール跡地に1棟・18戸。第2期工事として由良こども園北側に1棟・24戸を、第3期工事として1棟目と2棟目の間に1棟・18戸を予定している。用途廃止となる向山団地、中央団地の入居者に対しては、説明会をして、今後の確認を行っている。

町政のことを問う

出前座談会の申込を受付中!

議員と自由に意見交換しませんか?
対象: 自治会、団体、グループ等
期日: 6月から7月までの間で希望の日
内容: 町政・町議会に関すること
場所: 希望にあわせて調整
締切: 5月25日(月) ※1次締め切り
その後も随時受け付けます。
申込・問合せ: 議会事務局37-2445

お詫び

平成27年2月発行「議会だより35号」の12ページと17ページの前田議員の一般質問に対する町長答弁に誤りがありました。ご迷惑をおかけしたことをお詫びし、訂正いたします。

- 12ページ 住民アンケート
誤 考えていない → 正 検討したい。
- 17ページ 土地総額・単価
誤 1億546万円・7,400円
↓
正 9億2343万円・65,000円

追跡 あの質問は どうなった?

中学生にピロリ菌検査を

【平成26年12月定例会】
斉尾 胃がんになる確率を低く出来るピロリ菌の除菌のための検査を、中学校卒業までに実施を。
町長 実施できるよう、関係機関と相談、調整をしていく。

27年度からの実施が決定!!



町政のことを問う

猫の避妊・去勢手術

「助成制度」の創設は

町長 助成を行う方向

斉尾

平成25年改正動物愛護管理法が施行された。罰則の強化とともに飼い主や動物取扱業者において動物が命を終えるまで面倒を見る終生飼養の努力義務を課している。最近には飼い主のモラル低下やマナーの悪化など苦情も多くなっている。動物愛護と適正飼養について町報などで広く普及



斉尾 智弘

啓発を行うべき。また飼い主のいない猫へ「かわいそう」という気持ちだけで餌をあげ後の面倒は見ない。これでは不幸な猫を増やすだけで、問題の解決にはならない。このような猫を増やさないためには避妊・去勢手術を行うことが最も有効な手段だと言われている。保護器の貸し出し等を含めた町独自の「助成制度」を創設してはどうか。

町長

広報ほくえいを使った方法も含め効果的な方法により啓発を行っていく。避妊・去勢手術への助成は県内では倉吉市が行っている。同様の助成を行う方向で進めたい。補正予算による事業実施も視野に入れ、まとめた段階で議会へ提案する。



アポなし

突撃! 第5弾!!

インタビュー

かわもと ゆうき 河本 悠希さん (大谷)

- 1 文化祭の合唱で金賞をもらったこと。
- 2 書道
- 3 今のままでよい。
- 4 人と人とのつながりが強い。
- 5 これからもよろしく。



みやうち だいち 宮内 大地さん (下種) (左から2人目)

- 1 運動会
- 2 英語と苦手な数学にも頑張っている。
- 3 外国人がもっと来やすい町。
- 4 自然がいっぱい。青山剛昌ふるさと館のようなにぎやかな所。
- 5 3年間ありがとう。迷惑かけるけど、これからもよろしく。

まちの宝



～次代を担う子どもたち～

3/10 大栄・北条 中学校卒業式

インタビュー項目

- 1 学校生活の思い出は
- 2 今、頑張っていることは
- 3 町に望むことは
- 4 北栄町の好きなのは
- 5 家族に一言



よしおか あみ 吉岡 愛望さん (国坂浜)

- 1 文化祭でアカデミー賞がとれたこと。
- 2 勉強
- 3 ショッピングモールなど
- 4 コナンのまち
- 5 ありがとう、今後もよろしく。

さいお あみ 齋尾 亜美さん (国坂浜)

- 1 文化祭でのアカデミー賞
- 2 勉強
- 3 ショッピングモール
- 4 地域の人がやさしい。
- 5 ありがとう、これからもよろしく。

ながた しゅうと 永田 柁人さん (東園)

- 1 運動会
- 2 英語
- 3 もっと北栄町をPRしてくれ。
- 4 自然が多い。
- 5 今までありがとうございました。これからも苦勞や迷惑をかけるかもしれませんが、よろしくお願いします。



はせがわ しゅうた 長谷川 柁太さん (西高尾)

- 1 部活 (野球)
- 2 勉強
- 3 もっと遊べるところ。
- 4 環境
- 5 今までありがとうございました。

やすば りょう 休場 涼さん (国坂東)

- 1 文化祭での合唱がすばらしく、感動した。
- 2 勉強
- 3 現状でよい。
- 4 色々な食べ物があるておいしい。
- 5 ありがとう。



やまさき まさや 山崎 雅也さん (曲)

- 1 文化祭でのグランプリに輝いたこと。
- 2 卓球
- 3 若者が行ける所 (ショッピングモール)
- 4 レークサイド
- 5 感謝、ありがとうございます。

ふくみつ いずみ 福光 泉さん (大島)

- 1 文化祭 (最後のコンクール)で金賞がとれたこと
- 2 部活と勉強の両立
- 3 自然が豊か
- 4 自然が豊か
- 5 中学3年間ありがとう。



なか こうすけ 仲 宏典さん (由良宿2区)

- 1 野球の大会でホームランが打てたこと。
- 2 高校の野球部に行くので、トレーニングに頑張っている。
- 3 街灯をもっとつけ、明るくしてほしい。
- 4 ゆらや食堂のラーメン
- 5 15年 ありがとうございました。(寮生活になります。) 応援よろしくをお願いします。

おおにし ^{しゅうや}
大西 柁哉さん (大谷)

- 1 運動会で応援団長をして頑張ったこと
- 2 勉強
- 3 もっとコナンのまんがを有名にして広めていきたい。
- 4 香味徳のラーメンが大好き。
- 5 6年間いろいろあったけど、育ててくれてありがとう。



さいとう
西東 なごみさん (西園)

- 1 大栄小40周年の時の綱引きがおもしろかった。
- 2 勉強
- 3 もっとにぎやかな町になってほしい。
- 4 お台場近くに施設がいろいろあっていい。
- 5 これからもよろしく。



ささき ^{たいせい}
佐々木 大成さん (由良宿2区)

- 1 運動会の組体操
- 2 将棋
- 3 今のままの北栄町が好き。
- 4 スイカがおいしい。
- 5 これからもよろしくお願いします。



おくら ^{なぎと}
小倉 凧人さん (六尾)

- 1 修学旅行
- 2 卓球
- 3 遊ぶところ
- 4 自然が多い。
- 5 毎日ありがとう。

たけとし ^{みずか}
竹歳 瑞香さん (妻波)

- 1 修学旅行が楽しかった。
- 2 勉強
- 3 明るい北栄町
- 4 おいしいものがたくさんある。(スイカ)
- 5 これからもよろしく。



なんば ^{ゆうと}
南場 有登さん (六尾)

- 1 修学旅行
- 2 勉強
- 3 スイカ
- 4 ありがとうございますでした。



～次代を担う子どもたち～

3/19 北条・大栄 小学校卒業式

インタビュー項目

- 1 学校生活の思い出は
- 2 今、頑張っていることは
- 3 町に望むことは
- 4 北栄町の好きなところは
- 5 家族に一言

ますだ ^{りゅうし}
栲田 竜司さん (西新田場) (左端)

- 1 広島修学旅行
- 2 サッカー
- 3 ショッピングモール
- 4 自然がいっぱい
- 5 12年間ありがとう

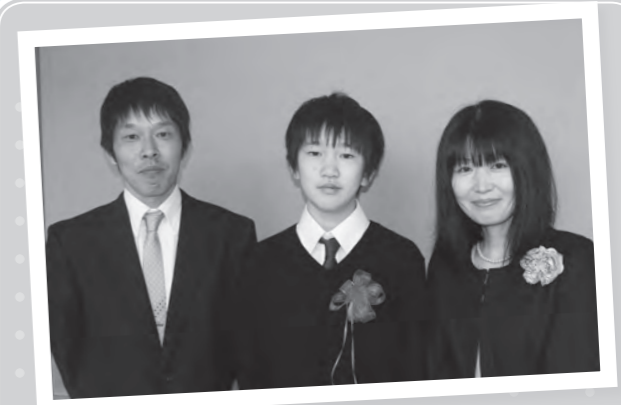


いのうえ ^{かれん}
井上 華恋さん (国坂浜)

- 1 広島への修学旅行
- 2 ダンス
- 3 にぎやかな町へ
- 4 ブドウ
- 5 ありがとう

なかくら ^{しげん}
仲倉 慈玄さん (松神)

- 1 スポーツ少年団で頑張ったこと (野球)
- 2 勉強
- 3 人が増えて、にぎやかになること。
- 4 風力発電
- 5 12年間ありがとう。



ひらた ^{ゆうと}
平田 勇斗さん (大島)

- 1 大栄小創立40周年におとなの楽しめる出し物を作ったこと。
- 2 勉強
- 3 店が多くほしい。
- 4 名産物が多い。(スイカ、長いも、ラッキョウ)
- 5 これからもよろしく。



かわいい 双子 ちゃん

掲載 双子ちゃん 募集中

藤原 ^{かいと}海都くん・^{かなみ}佳奈海さん
(左) (右) (15歳・東園浜)

海都くんは将来、車の設計をする技術者に、佳奈海さんは薬剤師になりたいそうです。保護者の方からは、悔いのない人生を歩んでほしいとのことでした。



新木 ^{ともひろ}智大くん・^{まさひろ}雅大くん
(左) (右) (12歳・国坂中団地)

智大くんは将来、プロのサッカー選手に、雅大くんは医者になりたいそうです。保護者の方からは、失敗を恐れず前向きに人の心を思いやれる中学生になってほしいとのことでした。



知っとななる? こんな北栄

日置黙仙禅師墓所 (北条島)



曹洞宗大本山永平寺貫首、曹洞宗管長を務めた黙仙は、下北条村字島に生まれ、幼い頃から風呂敷を袈裟に見立て、合唱読経の真似事をしていたという。出家後の黙仙は、寺院、宗門経営の才能と、非凡な交際家としての人徳を発揮し、荒蕪した丹波田通寺を復旧させた。その手腕を買われた黙仙は、遠州可睡斎の復興を任せられ、見事に成し遂げた。その後、全国に12か寺を開山し、こつとした功績をもって、黙仙を「稀代の経営者」と評する人もいる。黙仙の活動の場は、国内のみならず海外へもおよび、54歳の時にタイへ赴いたのを皮切りに、ミャンマーやインド、アメリカと東奔西走の活躍をしていた。

倉吉信用金庫由良支店 (由良宿1区)



JR由良駅から真つすく北方面に進み、県道を横断し約100m歩くと、右側に倉吉信用金庫由良支店はある。昭和35年3月に新築移転し、築56年を迎える2代目店である。初代の由良支店は、昭和31年1月、現店舗からさらに100m北寄りの由良宿内の大通りに開設された。店舗の内装ははや古めかしくなっていたが、レトロ感満喫の心癒される「クラシック」として、宿民から親しまれている。いつまでもバリバリの現役店として、営業を続けていてほしい。

編集後記

鳥取砂丘コナン空港、コナン駅(由良駅)に快速列車増便と今年は北栄町が「コナンのふるさと」らしく充実しています。

コナン像も庁舎前に5年ぶりに設置。また「大栄農村環境改善センター」「出会いの広場」の壁面にも登場、コナンをラッピングした自動車2台となんとつれいことしよう。町民のみならず、まも足を運んでください。



浜本 武代

発行責任者 議長 井上信一郎

編集 広報広聴常任委員会
委員長 宮本 幸美
副委員長 斉尾 智弘
油本 朋也
森本真理子
田中 精一
浜本 武代